

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成16年度）

参考資料2-1

施策番号	項目	平成16年度実施予定施策	予算(百万円)	平成16年度実施施策	実施機関	コメント
1-1-1	総量削減計画の着実な実施	総量削減計画の着実な実施		同左施策を実施	環境省 国土交通省 農林水産省 埼玉県、千葉県 東京都、神奈川県 横浜市、川崎市 千葉市、さいたま市	平成15年度から継続実施
1-1-1	総量削減計画の着実な実施	第5次水質総量規制の目標年度である平成16年度を迎えることから、次期総量規制の検討を開始	22	次期水質総量規制の在り方について中央環境審議会水環境部会総量規制専門委員会にて審議	環境省 水環境部	
1-1-1	総量削減計画の着実な実施	総量削減計画に基づき、 ・規制対象事業場(625事業場)への立入指導 ・自主測定結果の報告徴収及び取りまとめ ・県内の負荷量算定業務を実施	7.2	総量削減計画に基づき、 ・規制対象事業場(706事業場)への立入指導 ・自主測定結果の報告徴収及び取りまとめ ・県内の負荷量算定業務を実施	埼玉県 環境防災部	平成15年度から継続実施
1-1-1	総量削減計画の着実な実施	★規制対象事業場への立入指導、自主測定結果の報告徴収及び取りまとめを実施	-	同左施策を実施	千葉市 環境局	平成15年度から継続実施
1-1-1	総量削減計画の着実な実施	水質汚濁対策事業により、陸域負荷削減策(水質総量規制)に係る事務を実施	-	同左施策を実施	さいたま市 環境経済局	平成15年度から継続実施
1-1-2	効率的な事業施策の実施	下水道事業における排出枠取引制度に関する調査を実施	11	同左施策を実施	国土交通省 下水道部	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★下水道の整備を促進するとともに高度処理の導入を推進	383,128の内数	同左施策を実施	国土交通省 下水道部	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	下水道の整備	30,494	同左施策を実施	埼玉県 県土整備部	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★荒川処理センター、荒川右岸終末処理場、中川終末処理場、毛呂山処理センターにおいて高度処理施設の整備を実施	10,597	同左施策を実施	埼玉県 県土整備部	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★関連流域下水道整備(県事業分)(高度処理整備を含む)	9,261	同左施策を実施	千葉県 県土整備部下水道課	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★関連公共下水道整備(千葉市等関連市町村事業分)(高度処理整備を含む)	47,487	同左施策を実施	千葉県 県土整備部下水道課	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★砂町水再生センターや八王子水再生センターなどに高度処理施設の建設を実施	1,780	同左施策を実施	東京都 下水道局	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★下水の高度処理の導入(金沢下水処理場)	3,161	同左施策を実施	横浜市 下水道局	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★汚水未整備地区整備	617	同左施策を実施	川崎市 建設局	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★高度処理施設を導入 入江崎水処理センター(西系) 等々力水処理センター	3,566	入江崎水処理センター(西系) 基礎工事施工 等々力水処理センター 好気性ろ床 3池設置	川崎市 建設局	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★下水道普及率94.1%を目標に整備を推進 ★南部浄化センターで高度処理施設の増設を実施	9,178	★下水道普及率94% ★南部浄化センターで高度処理施設の増設を実施	千葉市 下水道局	平成15年度から継続実施
1-2-1	下水道	★約150haの下水道(汚水)整備を実施し、約10,000人下水道処理人口の増加を図る	6,179	★約200haの下水道(汚水)整備を実施し、約18,600人下水道処理人口の増加を図った	さいたま市 建設局	平成15年度から継続実施
1-2-2	農業集落排水施設	農業集落排水施設の整備を28箇所まで推進(15年度までに89箇所完了)	6,554	農業集落排水施設の整備を27箇所まで推進(16年度までに94箇所完了)	農林水産省 農村振興局	平成15年度から継続実施
1-2-3	浄化槽	市町村が主体となって浄化槽の整備・維持管理を行う事業等を積極的に活用し、浄化槽の整備を推進	25,659の内数	同左施策を引き続き実施	環境省 廃棄物・リサイクル対策	平成15年度から継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成16年度）

参考資料2-1

施策番号	項目	平成16年度実施予定施策	予算(百万円)	平成16年度実施施策	実施機関	コメント
1-2-3	浄化槽	生活排水対策を進めるため、浄化槽について市町村が行う補助に対して助成を実施 ① 単独処理から合併処理浄化槽への転換 67市町村、472基 ② 高度処理型浄化槽の設置 67市町村、32基	96.8	生活排水対策を進めるため、浄化槽について市町村が行う補助に対して助成を実施 ① 単独処理から合併処理浄化槽への転換 67市町村、450基 ② 高度処理型浄化槽の設置 10市町村、99基	埼玉県 環境防災部	平成15年度から 継続実施
1-2-3	浄化槽	平成15年度と同様に、生活排水対策を進めるため、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換する場合に、市町村が行う補助に対して助成を実施	14.76	16市町村、315基の補助を実施	千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
1-3	雨天時における 流出負荷の削減	★合流式下水道の改善を実施	383,128 の内数(再掲)	同左施策を実施	国土交通省 下水道部	平成15年度から 継続実施
1-3	雨天時における 流出負荷の削減	合流式下水道について、改善計画の策定を実施	497	同左施策を実施	埼玉県 県土整備部	平成15年度から 継続実施
1-3	雨天時における 流出負荷の削減	★処理場やポンプ所に雨水貯留施設の整備を実施	12,337	合流式下水道の改善に向け、同左施策を実施した	東京都 下水道局	平成15年度から 継続実施
1-3	雨天時における 流出負荷の削減	★雨水滞水池の建設による合流式下水道の改善(神奈川下水処理場雨水滞水池) ★沈砂池のドライ化(桜木ポンプ場)	2,694	同左施策を実施	横浜市 下水道局	平成15年度から 継続実施
1-3	雨天時における 流出負荷の削減	★雨天時における流出負荷削減のため、自然吐口にスクリーン設置	32	自然吐口にスクリーン設置(1箇所)	川崎市 建設局	
1-3	雨天時における 流出負荷の削減	★遮集管増設工事 ★初期雨水貯留管、雨水ポンプ場滞水池の設計	367	★初期雨水貯留管(2系統)実施設計 ★雨水ポンプ場滞水池実施設計	千葉県 下水道局	
1-3	雨天時における 流出負荷の削減	★別所3号幹線と大門・浅間6号幹線の整備を実施	1,055	★別所3号幹線と大門・浅間6号幹線の整備を実施 ★合流式下水道の改善計画を策定	さいたま市 建設局	
1-4	河川の浄化対策	★河川における有機汚濁負荷対策として、河川浄化施設の整備、浚渫等を実施 ★湿地や干潟の再生事業を実施	34,648.5 の内数	同左施策を実施	国土交通省 河川局	平成15年度から 継続実施
1-5-1	森林の整備	関係4都県の民有林において、水質の浄化等に資するため、間伐等の適切な森林整備を計画的に実施するとともに、育成複層林の造成を行うなど、多様で健全な森林の整備を実施(森林整備事業)	1,633	同左施策を実施	林野庁 森林整備部	平成15年度から 継続実施
1-5-1	森林の整備	関係4都県の民有林において、水源のかん養や土砂の流出・崩壊の防止等森林の有する公益的機能の持続的発揮を図るため、必要な森林を保安林に指定し、その適切な保全を図るとともに、荒廃地の復旧整備や機能の低下した保安林の整備等を実施(治山事業)	4,191	同左施策を実施	林野庁 森林整備部	平成15年度から 継続実施
1-5-1	森林の整備	関係4都県における国有林において、森林の有する国土保全や水源かん養の機能発揮のための更新・保育、間伐等を実施	150	関係4都県における国有林において、森林の有する国土保全や水源かん養の機能発揮のための更新・保育(866ha)、間伐(14千m <sup>3</sup> )等を実施	林野庁 国有林野部	平成15年度から 継続実施
1-5-2	貯留、浸透施設の 設置	貯留浸透施設の設置 浸透トレンチ 340m 浸透柵 205個	44	貯留浸透施設の設置 浸透トレンチ 277m 浸透柵 198個	千葉県 下水道局	平成15年度から 継続実施
1-6	浮遊ゴミ等の回収	中川の支流である綾瀬川で、河川浄化対策の一環として、市民とともに清掃活動を実施 ゴミ回収量2,700Kg	0.16	中川の支流である綾瀬川で、河川浄化対策の一環として、市民とともに清掃活動を実施 ゴミ回収量960Kg	さいたま市 環境経済局	平成15年度から 継続実施
2-1-1	汚泥の浚渫、覆砂等を 効果的に推進	★海水が汚染されヘドロ等の堆積した東京湾の東京港において、公害の原因となる堆積汚泥の浚渫、並びに千葉港において、現況調査を実施 (実施機関:東京都港湾局、千葉県県土整備部)	295	同左施策を実施 <実施機関:東京都港湾局、千葉県県土整備部>	国土交通省 港湾局	平成15年度から 継続実施
2-1-1	汚泥の浚渫、覆砂等を 効果的に推進	千葉港の航路・泊地において公害の原因となる堆積汚泥の現況調査を実施	15	同左施策を実施	千葉県 県土整備部	平成15年度から 継続実施
2-1-1	汚泥の浚渫、覆砂等を 効果的に推進	★汚泥浚渫事業として、東京港運河水域の底泥の除去を江東地区と芝浦地区で実施	280	汚泥浚渫事業として、東京港運河水域の底泥の除去を江東地区と芝浦地区で実施	東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成16年度）

参考資料2-1

施策番号	項目	平成16年度実施予定施策	予算(百万円)	平成16年度実施施策	実施機関	コメント
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	東京湾内海域を浮遊するゴミ・油を1隻の油回収兼清掃船で回収を実施	180	同左施策を実施 浮遊ゴミ回収量 285.9m3	国土交通省 港湾局	平成15年度から 継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	流木などの浮遊ゴミを4隻の清掃船で回収	134.7	同左施策を実施	千葉県 県土整備部	平成15年度から 継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	東京港港湾区域内を6隻の清掃船で海面清掃（土、日、祝祭日を除き毎日運航）	230	東京港港湾区域内（一部を除く）を6隻の清掃船で海面清掃	東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	横浜港港湾区域内の浮遊ゴミを7隻の清掃船で回収	159.4	同左施策を実施	横浜市 港湾局	平成15年度から 継続実施
2-1-2	海面を漂う浮遊ゴミの回収	川崎港における浮遊ゴミ回収などの海面清掃を2隻の清掃船で実施（平日1回以上）	45	同左施策を実施	川崎市 港湾局	平成15年度から 継続実施
2-1-3	NPOや漁業者等による清掃活動	城南島海浜公園は地元企業、ボランティア等が参加した海浜清掃を年1回実施し、お台場海浜公園は関連機関、地元企業及び住民等が参加した海浜清掃を年	-	城南島海浜公園は地元企業、ボランティア等が参加した海浜清掃を年1回実施し、お台場海浜公園は関連機関、地元企業及び住民等が参加した海浜清掃を年	東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
2-1-3	NPOや漁業者等による清掃活動	市民団体による山下公園前の海底清掃活動と協働し、海底ゴミの回収を推進	0.2	同左施策を実施	横浜市 港湾局	平成15年度から 継続実施
2-2-1	干潟、浅場等の整備	保全可能な干潟等の選定について、検討を実施	2	同左施策を実施	国土交通省 港湾局	平成15年度から 継続実施
2-2-1	干潟、浅場等の整備	★平成15年度の検討結果を踏まえ、東京湾奥部において、航路浚渫等により発生する土砂を活用した覆砂等による干潟、浅場の造成を実施	100	同左施策に着手	国土交通省 港湾局	
2-2-1	干潟、浅場等の整備	東扇島東緑地において、国直轄事業であることから、ワークショップ等で取りまとめられた計画について、国の計画に反映されるよう要望等を行っていく。	-	市民の方々が取りまとめた計画を国に対して要望し、事業に取り入れられた。	川崎市 港湾局	
2-2-1	干潟、浅場等の整備	東扇島東緑地において平常時には、人工海浜等の親水機能を有する緑地を国直轄事業により整備	-	同左施策に着手	国土交通省 港湾局 川崎市 港湾局	
2-2-1	干潟、浅場等の整備	ネットワーク化について、検討を実施	6	同左施策を実施	国土交通省 港湾局	平成15年度から 継続実施
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	港湾における生物生息環境等の水辺環境の形成に向けた検討を推進	-		横浜市 港湾局	
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	★平成15年度の検討結果を踏まえ、千葉港葛南中央地区において、岸壁改良時に生物付着基盤となる附帯施設の設置を実施	457	同左施策を実施(調査・設計)	国土交通省 港湾局	
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	(2-2-1掲載分の再掲) 東扇島東緑地において、国直轄事業であることから、ワークショップ等で取りまとめられた計画について、国の計画に反映されるよう要望等を行っていく。	-	市民の方々が取りまとめた計画を国に対して要望し、事業に取り入れられた。	川崎市 港湾局	
2-2-2	生物に配慮した港湾構造物等の導入	(2-2-1掲載分の再掲) 東扇島東緑地において平常時には、人工海浜等の親水機能を有する緑地を国直轄事業により整備	-	同左施策に着手	国土交通省 港湾局 川崎市 港湾局	
2-2-3	深掘跡の埋め戻し	海上工事に発生した良質な土砂の、深掘跡への埋め戻しを実施	-	同左施策を実施	千葉県 県土整備部	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	【広域総合水質調査】 昭和54年から実施している水質、底質及びプランクトン調査に加えて、新たに底生生物調査を実施	4.5	同左施策を実施	環境省 水環境部	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	【貧酸素水塊発生機構解明調査】 東京湾における貧酸素水塊の発生、分布、等の実態を把握	11	東京灯標傍傍にて、DOの連続測定及び周辺定点観測を実施(6～9月)	環境省 水環境部	新規
3-1-1	底層のDO及び底生生物	さらに、漁場監視調査体制を強化するため、引き続き生物モニタリング調査等(底生生物等)に対する補助事業「漁場環境モニタリング調査」(東京都、千葉県)	13.5	同左施策を実施	水産庁 増殖推進部 漁港漁場整備部	平成15年度から 継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成16年度）

参考資料2-1

施策番号	項目	平成16年度実施予定施策	予算(百万円)	平成16年度実施施策	実施機関	コメント
3-1-1	底層のDO及び底生生物	水質測定計画に基づき、東京湾の水質調査を実施。 DOは表層と底層で実施 東京湾内湾 18地点* 12回/年 * 千葉市 3地点及び船橋市 2地点を除く 県実施分のみ 東京湾内房 3地点 12回/年 6地点 6回/年	44	同左施策を実施	千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	環境省広域総合水域調査業務を受託し、東京湾の水質及び底生生物調査等を実施 水質 14地点 プランクトン 6地点 底質及びマクロベントス 5地点	2	同左施策を実施	千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	水質汚濁防止法に基づき環境基準点の、表層・底層のDOを毎月、底生生物については、年2回調査を実施	25 (水質測定調査(海域)の一部を使用している。) 4 (水生生物調査の一部を使用している)	同左施策を実施	東京都 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	東京港野鳥公園において、鳥類、底生生物、水質調査などを実施	4.2	同左施策を実施	東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	DOについて、測定計画に基づき5地点で、毎月1日1回上下層で、採水・分析を実施	-	同左施策を実施	神奈川県 環境農政部	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	★DOについて、測定計画に基づき7地点で、毎月1日1回上下層で、採水・分析を実施	-	同左施策を実施	横浜市 環境保全局	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	15年度に実施した調査結果の取りまとめ	-	同左施策を実施	横浜市 環境保全局	
3-1-1	底層のDO及び底生生物	DOについては測定計画に基づき7地点で毎月1日1回上下層で採水、分析を実施。 底生生物については6地点を毎年2地点ずつ、3年間でローリングし調査を実施	-	同左施策を実施	川崎市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-1	底層のDO及び底生生物	★アピールポイント周辺の2地点で底層のDOを月1回実施	-	監視点No.1と8の2地点で実施	千葉市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	モニタリングポストでの海潮流及び水質のモニタリングを実施	5.2	同左施策を実施	海上保安庁 海洋情報部	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	油回収兼清掃船により、東京湾奥部の6地点の定点において、水質の観測を実施	2-1-2の内数	同左施策を実施(12回)	国土交通省 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	(3-1-1の再掲) 【広域総合水質調査】 昭和54年から実施している水質、底質及びプランクトン調査に加えて、新たに底生生物調査を実施	4.5 (再掲)	同左施策を実施	環境省 水環境部	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	さらに、漁場監視調査体制を強化するため、引き続き水質調査等(気象、海象、水温、pH、水色、DO、塩分等)に対する補助事業「漁場環境モニタリング調査」(東京都、千葉県)を実施	13.5 (再掲)	同左施策を実施	水産庁 増殖推進部	平成15年度から 継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成16年度）

参考資料2-1

施策番号	項目	平成16年度実施予定施策	予算(百万円)	平成16年度実施施策	実施機関	コメント
3-1-2	海潮流及び水質	(3-1-1の再掲) 水質測定計画に基づき、東京湾の水質調査を実施。 DOは表層と底層で実施 東京湾内湾 18地点* 12回/年 * 千葉市 3地点及び船橋市 2地点を除く 県実施分のみ 東京湾内房 3地点 12回/年 6地点 6回/年	44 (再掲)	同左施策を実施	千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	(3-1-1の再掲) 環境省広域総合水域調査業務を受託し、東京湾の水質及び底生生物調査等を実施 水質 14地点 プランクトン 6地点 底質及びマクロベントス 5地点	2 (再掲)	同左施策を実施	千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	お台場・城南島・葛西・大井ふ頭中央・若洲・東海ふ頭の6海上公園において、水質調査を実施	4.2 (再掲)	同左施策を実施	東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	(3-1-1の再掲) 東京港野鳥公園において、鳥類、底生生物、水質調査などを実施	4.2 (再掲)	同左施策を実施	東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-2	海潮流及び水質	川崎港内の水質測定局(1ヶ所)によりCOD等6項目の水質のモニタリングを実施	-	同左施策を実施	川崎市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-3	底質	(3-1-1の再掲) 【広域総合水質調査】 昭和54年から実施している水質、底質及びプランクトン調査に加えて、新たに底生生物調査を実施	4.5 (再掲)	同左施策を実施	環境省 水環境部	平成15年度から 継続実施
3-1-3	底質	(3-1-1の再掲) 環境省広域総合水域調査業務を受託し、東京湾の水質及び底生生物調査等を実施 水質 14地点 プランクトン 6地点 底質及びマクロベントス 5地点	2 (再掲)	同左施策を実施	千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-3	底質	多摩川河口干潟の生物、底質の調査を実施	-	同左施策を実施	川崎市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-4	生物	(3-1-1の再掲) 東京港野鳥公園において、鳥類、底生生物、水質調査などを実施	4.2 (再掲)	同左施策を実施	東京都 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-1-4	生物	(3-1-3の再掲) 多摩川河口干潟の生物、底質の調査を実施	-	同左施策を実施	川崎市 環境局	平成15年度から 継続実施
3-1-5	赤潮・青潮の発生状況の把握	赤潮青潮調査としてDO測定等を8地点について月1～2回実施 青潮は発見ごとに状況調査を実施	船舶維持関連 10	同左施策を実施(赤潮12回 青潮1回)	千葉県 環境生活部	平成15年度から 継続実施
3-1-5	赤潮・青潮の発生状況の把握	人工衛星により赤潮等の挙動をリアルタイムで把握するシステムの運用を開始	11.6	同左施策を実施	海上保安庁 海洋情報部	
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	モニタリングデータ及び人工衛星による赤潮等のデータのwebサイトでの発信	5.2の内数	同左施策を実施	海上保安庁 海洋情報部	
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	環境情報を集約し、情報の共有・発信のためにインターネット上のWebサイトで東京湾環境情報センターとしてデータの公開及び共有に係る機能の整備を実施	56	同左施策を実施 東京湾環境情報センター <a href="http://www.tbeic.go.jp">http://www.tbeic.go.jp</a>	国土交通省 港湾局	平成15年度から 継続実施
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	水質環境総合管理情報システムの全国試験運用を行い、システムのネットワークを構築	11	水質環境総合管理情報システムの東京湾サイト(WOTB)においてGISを活用して東京湾の水環境に関する情報を視覚的に提供	環境省 水環境部	
3-2	モニタリングデータの共有化及び発信	水質データについての相互間のリンクを継続	-	同左施策を実施	横浜市 環境保全局	平成15年度から 継続実施

東京湾再生のための行動計画 進捗状況（平成16年度）

参考資料2-1

施策番号	項目	平成16年度実施予定施策	予算(百万円)	平成16年度実施施策	実施機関	コメント
3-3-1	市民が自ら体験・学習できる仕組みを整備	★漂着ゴミ分類調査をお台場、千葉稲毛海岸等で実施し、調査結果を漂着ゴミマップとして取りまとめ公表	-	★漂着ゴミ分類調査をお台場、千葉稲毛海岸等3箇所ですべて3回実施し、調査結果を漂着ゴミマップとして取りまとめ公表	海上保安庁 警備救難部	平成15年度から継続実施
3-3-1	市民が自ら体験・学習できる仕組みを整備	海洋環境保全教室、講習会を開催	-	海洋環境保全教室を15回、講習会を10回実施	海上保安庁 警備救難部	平成15年度から継続実施
3-3-1	市民が自ら体験・学習できる仕組みを整備	自然体験活動(干潟観察会)や「藻場の再生」をテーマとした「アマモ場再生イベント」を開催	-	干潟観察会を千葉で8回(参加延べ人数370名)、東京港野鳥公園で1回(参加人数15名)、アマモ場再生イベントを横浜ベイサイドマリーナで1回(参加人数127名)	国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施
3-3-2	市民やNPOとの連携を強化	「未来に残そう青い海ボランティアチーム」のメンバーと協力して指導啓発活動を実施	-	「未来に残そう青い海ボランティアチーム」のメンバーと協力して指導啓発活動を実施(14回)	海上保安庁 警備救難部	平成15年度から継続実施
3-3-2	市民やNPOとの連携を強化	環境修復・創造に向けた環境NGOのパートナーシップの形成のための地域フォーラムの開催	4 の内数	同左施策を実施	財団法人国際エメックス センター	平成15年度から継続実施
3-3-2	市民やNPOとの連携を強化	市民参加による海辺の体験活動や調査・研究などを支援するため、環境改善に向けた啓発活動を展開する場として施設を一般へ開放	-	横浜港湾空港技術調査事務所の施設を利用した生物観測会を5回(参加延べ人数354名)実施	国土交通省 港湾局	平成15年度から継続実施
4-1	お台場における水質浄化実験	★平成15年度に引き続き、海域浄化実験を春から秋にかけて約200日行う予定	66 (実験に伴う浄化プラント運転、維持管理費用及び水質調	同左施策を実施	東京都 下水道局 環境局 港湾局	平成15年度から継続実施
4-2	定期フェリーによるモニタリング	東京湾口を航行する東京湾フェリーへ流況測定装置等を設置し、フェリーによる東京湾口の環境モニタリングシステムの開発について検討を実施	36	同左施策を実施(東京湾ペイトールース)	国土交通省 港湾局 <<独>港空研へ委託>	平成15年度から継続実施
4-3	海洋短波レーダーによる観測	HFレーダーモニタリングシステムの構築と同システムに基づく東京湾での観測結果の公開及び新型レーダーの導入を実施。	55	同左施策を実施	国土交通省港湾局 国土総合技術研究所	
4-4	海外との交流	「天然資源の開発利用に関する日米会議(UJNR)」の枠のもと、「沿岸環境科学技術専門部会(CESTパネル)」を米国で開催し、東京湾と米国の代表湾との比較研究を含む日米の閉鎖性海域における環境保全等の技術的課題等に関する情報交換を行う予定 <日本事務局・(独)港空研> また、「東京湾シンポジウム II」については、継続開催す	-	「沿岸環境科学技術専門部会(CESTパネル)」のH17年度(秋頃)開催に向けた準備を実施 「東京湾シンポジウム」の平成17年度6月開催に向けた準備を実施	国土交通省 港湾局 (国総研)	

アピールポイントにおける施策実施状況(平成16年度末)

	アピールポイント名	行動計画の施策	実施機関	平成16年度末までの実施状況
1	いなげの浜 ～幕張の浜周辺	千葉市南部浄化センターにおいて高度処理を導入	千葉市 (下水道)	日処理量66,250m <sup>3</sup> で運転中。(嫌気無酸素好気法) H18年度運転開始を目標に、さらに66,250m <sup>3</sup> の施設を増設中。
		千葉市中央処理区において、吐け口のスクリーン設置、貯留・浸透施設等、合流式下水道の改善	千葉市 (下水道)	雨水吐スクリーン1箇所設置 浸透トレンチ 7,868m 浸透樹 2,560箇所
		当地区に流入する河川流域において、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、高度処理型浄化槽の設置等		
		水質モニタリング	千葉市 環境局	月1回アピールポイント周辺の2地点で水質調査を実施した。
		生物モニタリング		
2	三番瀬周辺	江戸川左岸流域江戸川第二終末処理場において、高度処理を導入	千葉県 県土整備部 下水道課	高度処理機能を持つ新たな水処理系列を建設中。
		当地区に流入する河川流域において、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進、高度処理型浄化槽等		
		当地区に流入する河川流域において、河川の直接浄化施設の設置等		
		水質モニタリング		
		生物モニタリング		
3	葛西海浜公園周辺	埼玉県荒川流域荒川処理センターに高度処理を導入		
		綾瀬川等当地区に流入する河川において、浚渫等の河川浄化対策、荒川河口域における干潟の再生を実施		
		水質モニタリング	東京都 環境局	塩分、DOを年2回測定
		生物モニタリング	東京都 環境局	底生生物調査(2回/年)、稚魚調査(9回/年)、鳥調査(12回/年)実施した
4	お台場周辺	三河島処理場で高度処理を導入	東京都 下水道局	三河島水再生センターに高度処理施設を導入し、現在稼働中である。
		芝浦処理区の渋谷川、古川流域において河川事業と下水道事業とが連携した雨水貯留管の設置、雨水吐き口におけるスクリーン施設の設置等	東京都 下水道局	17箇所の雨水吐き口において、ごみの流出抑制対策を実施したほか、芝浦水再生センターにおいて雨天時貯留施設を築造中である。
		隅田川流域において、浚渫や河川の直接浄化施設の設置等		
		水質モニタリング	東京都 環境局	塩分、DOを年2回測定
		生物モニタリング	東京都 環境局	底生生物調査(2回/年)、稚魚調査(9回/年)、鳥調査(12回/年)実施した
5	多摩川河口周辺	川崎市等々力水処理センターで高度処理を導入	川崎市 建設局	等々力水処理センター 好気性ろ床3池設置
		入江崎処理区においてポンプ場沈砂池のドライ化、雨水吐き室におけるスクリーン設置等	川崎市 建設局	雨水吐口にスクリーン設置に着手(1箇所)
		下水道処理区域外の臨海部において、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進		
		水質モニタリング		
		生物モニタリング	川崎市 環境局	多摩川河口干潟の生物の調査を実施。過去5年間の調査結果を基に啓発用パンフレットを作成。
6	みなとみらい21周辺	横浜市神奈川下水処理場において、高度処理の施設整備を推進		
		雨水滞水池による合流式下水道の改善		
		水質モニタリング		
		生物モニタリング		
7	海の公園・八景島周辺	横浜市金沢下水処理場に高度処理を導入		
		金沢ポンプ場沈砂池のドライ化やポンプ場放流水の消毒		
		水質モニタリング		
		生物モニタリング		